

「もしも…」のときに備えて、「いま」できることから。

2012年度 活動テーマ

# 災害ネットワークをつくる



ひこね市民活動センターでは、さまざまな分野で活動しているNPOや市民団体の情報発信とネットワークづくりを行っています。  
2012年度は、「災害ネットワークの構築」を活動テーマに、これまでに以上に、市民や市民団体のつながりづくりや情報共有を進めていくよう、勉強会やイベント、事業を進めていく予定です。

## ヒコねば通信

ひこねのしゃべり場・たまり場 情報誌

2012年  
水無月(6月)号  
2,000部発行

私たちの住む彦根が、「人と人が豊かにつながるまち」、「住みたい・住み続けたいと思えるまち」になるように、いろいろな方々と協力しながら、今年も元気に活動していきます。  
「こんなセンターがあることをはじめて知った」という方や、「趣味や特技を活かして、これから何か始めてみたい」という方など、もしセンターや市民活動に関心があれば、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



今年度もどうぞよろしくお願いいたします！

監事	事務局長	代表理事	副代表理事	2012年度運営委員	ひこね市民活動センター
山名 朋希	馬場 和子	青山 裕史(*)	和名 弘祐	森 恵生	柴田 雅美
			松居 直和	棚橋 勝道	

\*以外は、前年度から再任



油藤商事株式会社 青山裕史です。  
当社は、ガソリンスタンドを経営しておりますが、ガソリンスタンドは環境に悪い商売です。  
なので、出来るだけ環境に優しいガソリンスタンドを目指して、資源ごみの分別回収や廃食油リサイクル燃料 バイオディーゼルを製造販売しております。  
以前から、まちづくり活動には興味関心があり、様々な取組みをしながら多くの方とつながらせてもらうことが出来ました。このつながりは大きな財産になっています。  
これからもこのつながりをさらに深めるべく、市民活動センターでも微力ながら協力していこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### ひこね市民活動センター

〒522-0061 彦根市金亀町 7-5 ヴォーリス洋館  
Tel:0749-24-4461 FAX:0749-47-5402  
E-Mail:hikone.cac@gmail.com

### ひこね市民活動センター開館時間

毎月  
第1・第3水曜日 の10:00~16:00  
毎木曜日・金曜日

※事業の都合により不在の場合がありますので、できれば事前にご連絡ください。

参加無料

### 「茶話会」のお知らせ

第4木曜日の14:00~16:00  
ひこね市民活動センターにて  
何か活動をやってみたい、話を聞いてみたいという方  
お茶を飲みながら  
気楽にお話しませんか。



「災害ネットワークの構築」に向けて  
ひこね市民活動センター勉強会などの予定表



時期	内容（テーマ・講師など）
7月	各団体による防災関連イベントの紹介＆参加 8日 防災学習会（聴覚障害者の立場で） 主催：彦根市聴覚障害者協会 22日 防災フォーラム 主催：彦根市社会福祉協議会 ※来場者を対象にアンケートを実施 →災害発生時に「不安に感じる」と「自分にできそうなこと」を意見集約
8月末	彦根市の防災訓練へ参加 訓練内容を「市民活動団体」の立場でみてみよう！ 例）災害発生時や発生後、市民活動団体の役割は位置づけられているのか？ 市民活動団体への情報は来るのか？ 実際にできそうなことはあるのか？ など
秋ごろ	〔センター勉強会〕 彦根市危機管理室から出前講座（予定） 「彦根市の防災計画＆災害発生時の対応の仕方」
11月	聖泉大学CLCセミナーへ参加 ※センターの活動紹介、参加者からの意見集約などを行う。
冬ごろ	〔センター勉強会〕 被災地支援や防災の活動をしている団体・人から事例紹介（予定）
来年3月	東日本大震災から2年・・・ 「災害が起きたとき、私はどうなる？何が出来る？」 一人ひとり、条件や環境が異なるなかで、 災害発生時やその後を想定した予想絵図をつくってみよう。 それぞれの不安や悩みだけでなく、強みやネットワークを共有しておくことで、いざというときに役立つはず！



実際に彦根市で災害が起こったとき、私たち一人ひとりはどんな状況に置かれるのでしょうか。また、そのときに自分にはどんなことができるのでしょうか。

もしも・・・のときを想定してあらかじめ「不安に感じる」と「自分にできそうなこと」をみんなで出し合い、共有しておくこと。

それが、いまのうちにしておくことではないでしょうか。

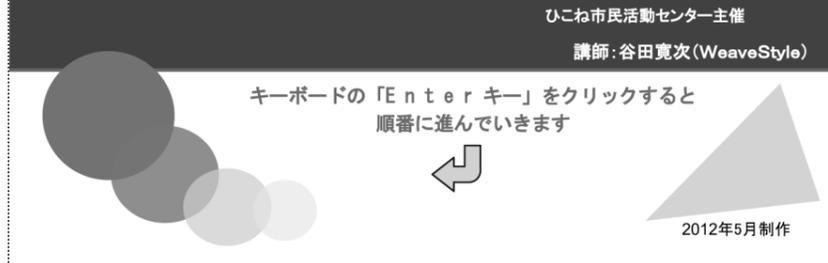
そこで、市民活動センターではこうした意見を集約しながら、来年3月に「**災害発生時やその後の予想絵図**」をみなさんとつくりあげたいと考えています。

まずは防災フォーラムの参加者を対象に「災害が起こった場合に『不安に感じる』『自分にできそうなこと』」をアンケートしたいと考えています。

どんな意見が寄せられたかは、次号以降のひこねば通信などでお知らせしていきます。

NPO・市民活動団体のための  
Facebook・スタートアップ講座

1 / 23



NPO・市民活動団体のための  
Facebook・スタートアップ講座  
<http://www.weavestyle.net/facebook/np.html>  
(ひこね市民活動センターブログからもリンク)



5月13日の総会後に、WeaveStyleの谷田さんを講師にお招きし、NPO・市民活動団体向けの「Facebook活用術」について勉強しました。

「市民活動団体がFacebookをどう活かすのか」「緊急時の災害対策ネットワークとして、Facebookのメリット・デメリット」などをわかりやすく紹介していただきました。

谷田さんからは、「FacebookをはじめとするSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）は、忙しくてわざわざ勉強会に来られない人たちにこそ活用してほしい」との話があり、勉強会での資料をインターネット上で公開されています。

初心者にとってもわかりやすい内容になっていますので、ぜひ一度ご覧ください。

「Facebook活用術」勉強会を開催しました

ひこね防災フォーラム 2012 ～今こそ地域で支え合うとき～

開催趣旨

東日本大震災から1年余りが経つ今も、復興に向けた取り組みは続いています。私たちはこれまで、主に「被災地域の支援をすること」に目を向けてきました。しかし、この度の震災は継続した支援と同時に、“平時からどのような地域づくりに取り組むべきか”という問いも投げかけているのではないのでしょうか。この震災を忘れることなく、災害にも強く一人ひとりを大切にする地域づくりを進めることを目的に開催します。

日時：平成24年7月22日(日)午後1時30分～4時00分

場所：ひこね市文化プラザ メッセホール

内容

キーノートスピーチ

「東日本大震災から学ぶ

地域のネットワークの大切さ」

講師：桑原 英文さん

〔一般社団法人コミュニティ・4 チルドレン代表理事、支援者のための支援センターTOMONY共同代表、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事〕

パネルディスカッション

「日常の地域福祉活動は災害時にどう生きるか」

パネリスト

宮城県美里町社会福祉協議会 地域福祉係長 浅野 恵美さん

彦根市民生委員児童委員協議会連合会 会長 黒川 隆徳さん

稲枝地区社会福祉協議会 会長 藤田 治夫さん

主催・問合せ先：彦根市社会福祉協議会（地域福祉課 TEL：22-2821 FAX：22-2841）

# 事業のご案内

放送中!

◇毎月15日は **市民活動「情報交換会」**  
19:00～ ひこね市民活動センターにて  
参加費 300円 と 一品持寄り(食べ物(自分のお好みで)  
飲み物)(持寄り無の方は参加費 500円)

毎月、ゲストスピーカーから活動紹介  
〔今後の予定〕

7月 サラン彦根・天父報恩鼓

8月 おうみ木質バイオマス利用研究会

※9月以降も、子育てや環境、まちづくりなど、様々な  
分野で活動している団体から話していただく予定!

輝け!市民のチカラ  
市民活動アワー「ひこねば」

○放送日時

毎週木曜日

(9:00~9:15/16:15~16:30)

○内容

市民活動・イベント情報などの紹介

○放送

F M ひこね (78.2MHz)

## 募集情報

市民活動団体のみなさまへ

**市民活動データベースへの登録をお願いします!**

登録無料

ひこね市民活動センターでは、

“市民活動団体の応援”と“災害時に備えた日頃のネットワークづくり”を進めるため、  
彦根近隣で活動している市民活動団体のデータベースを作成し、HPなどで公開しています。

登録することで、団体の活動PRになります! くわしくは、センター事務局まで。

自分の得意なこと・好きなことを生かして  
市民活動・ボランティア団体さんのPRや  
交流事業などのお手伝いをしてみませんか?

**ひこね市民活動センターの運営を  
手伝っていただける方を募集しています**

市民活動・ボランティアに興味があるけど何がしたいか決まっていない、  
様々な活動をしている人と出会いたい、

とりあえず何かやってみたいという方などお待ちしております!

主に以下のようなことをお手伝いして頂ければと考えています。

■ヒコねば通信の発行・配布(6・9・12・3月発行予定)

■市民活動センターの開館、管理

■イベントのお手伝い など



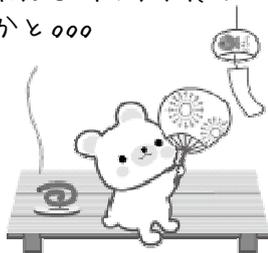
できることから、ちょっとずつ。☆気軽にお問い合わせください☆

### 編集後記

気が付けば、今年も半年が過ぎようとしています。  
1年前の自分から、体力の衰えを明らかに感じる一方で、何か成長したのだろうかとおも

そんな反省も込めて、  
これからもしっかりと  
「いま」を楽しみながら  
生きていきたいものです。

M・K



### 応援広告募集中!!

発行時期: 6月・9月・12月・3月

発行部数: 2000部

配布・設置場所: 彦根および近隣の市民活動団体、

配布サポーターの配布先のほか

彦根市の各施設の窓口 など

1枠 1000円~